

「第13回宮本武蔵杯争奪子ども将棋大会」 開催報告

初冬の候、11月28日 朝霧包む佐用町で、毎年恒例の小学生以下の将棋好きな子どもが集う「武蔵杯子ども将棋大会」を開催。生涯60数戦無敗の剣豪が幼少期この地で過ごし、先の見えない戦国時代に不遇の家庭環境の中、剣の道だけを己の立身の術と信じ「朝鍛夕錬」厳しい修行の末、後に「二刀流」を編み出すこととなりました。13才の時母の実家の因幡街道平福宿の町外れで新当流有馬喜兵衛を一刀のもと切り倒したことを約50年後に書いた「五輪書」の冒頭に書いたのは、唯一愛情を受けた母、故郷への恋慕ではないでしょうか。

佐用子ども将棋教室 代表 野村 益樹

大会成績は以下のとおり

◆Aクラス宮本武蔵杯（上級者以上）=14名

優勝	坂井 政士郎（神戸市）
準優勝	坂井 慶一郎（神戸市）
第3位	土山 蒼介（岡山県久米郡）

◆Bクラス弁之助杯（中級者）=20名

優勝	小松 希（島根県松江市）
準優勝	松浦 永真（岡山市）
第3位	森山 裕基（姫路市）

◆Cクラス星の子杯（初心者）=16名

金賞	上所 大貴（姫路市）
銀賞	前田 裕平（加古川市）
銅賞	山下 蒼真（姫路町）
	堀井 昭磨（たつの市）
	中塚 皓清（上郡町）



【大会集合写真】



【古森悠太五段による指導対局】

【後援】 佐用町、神戸新聞社、日本将棋連盟、西日本将棋道場連合会